



イマジン ロータリー

2022~2023
RIテーマ

イマジンロータリー

本年度クラブテーマ

「以和為貴」 和を以て貴しとなす

創立: 1991年7月13日

会長/湊 修

幹事/熊谷 健司

会報広報委員長/熊谷 健司

■例会日/毎週金曜日12時30分 ■例会場/ホテルメトロポリタン秋田 ■事務局/秋田市中通7丁目2番1号 ホテルメトロポリタン秋田内

第1429回〈今年度第19回〉例会 2023年1月27日(金)

【会長の時間】

会長 湊 修



先週の金曜日の例会時には全く雪が無く、今年は楽に過ごせているというお話をしましたが、今週は今年最大の寒気によってあっという間に冬らしくなりました。

急激な変化に体調を悪くされませんよう、暖かくしてお過ごしください。

八代様、本日はありがとうございました。

大変興味深いお話をありがとうございました。

南ロータリークラブでも以前講演されたとの事でした。

また、学校や病院など様々な所でお話しされているとお聞きしました。

普段私たちは目にする事が無いけれども、社会にとってとても大切で、必要な活動だと感じました。

実はロータリーと障がいの方への支援は関係が深く、紐解いてみますと、1928年のミネアポリス国際大会でロータリー基金がロータリー財団へと改称されました。そして1929年、ロータリー財団は初の補助金500ドルを身体障害児童保護国際協会へ送りました。実はロータリーの創始者であるポールハリスが自ら寄付した500ドルをこの協会へと寄贈することを要望したとのことです。

ロータリー財団は第二次世界大戦後に大きく発展してきましたが、1946年にのRI理事会で、ひとつのロータリークラブだけではなく、複数の、そして国際ロータリーまでも巻き込む程の協力が無ければ国際奉仕はうまくいきません。だからこそ、ロータリー財団という組織が国際奉仕を実施すべきであり、かつ実施することができるのです。

という声明を出しています。

ただし、それまでロータリー財団は資金的にも活動的にも苦しい状況でした。

1947年にポールハリスが亡くなったのがきっかけとなり、多額の寄付が国際ロータリーへ寄せられ、財団はポール・ハリス記念基金を設け、その後に財団発展へと役立てられ、資金的にも活動的にも発展を遂げる様になったのです。

日本国内での障がいの方の施設などへの支援としては子供たちへ自立支援のための遊具の寄贈や、絵や工作などの作品展を行ったり、ボルダリング設備の寄贈、視覚障がいの方への誘導表示を設置したり、農作業を行なっている施設に農機具の寄贈などがありました。

また、バリアフリーという言葉は直訳すると、障がいを取り除くとなります。

障がいが無ければいいものであるというのは健常者から見た考え方なのかもしれません。

バリアバリュー。障がいを価値へと変えていく必要がある、と提唱している人もいます。

正直なところ、自らなってみなければ本当の大変さはわからないと思います。

障がいの方が積極的に参加できる社会にしていくことが、大切なのかと思います。

本日の会長の時間は以上です。

次回も沢山の方のご参加をお待ちしております。

ありがとうございました。

【出席報告】

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	メークアップ
1月27日	40名	26名	14名	65.00%	4名
1月20日	40名	31名	9名	77.50%	5名
12月18日	40名	27名	13名	67.50%	0名

【副幹事の時間】

ゲストスピーチ：特定非営利活動法人にこっと秋田
理事長 八代 美千子 様

テーマ：「大好きな人と一緒に暮らしたいをお手伝い」



にこっと秋田では「誰もが役割をもって住み慣れた地域で生ききる」という理念のもと、2018年10月に人工呼吸器などの医療的なケアが必要な重い障がいを持った方を日中お預かりする「多機能型重症児者デイサービスにのこ」を開設しました。現在4歳から42歳までの方が登録されていて、1日あたり10名前後の方が利用されています。

室内での活動はもちろん、外出をして地域の方との関わることを大切にしています。

当時秋田市内にはこういった場所はなく、家族は24時間365日の介護で疲弊しきっていました。自分自身の時間が全くなく、仕事をすることもできないため社会とのつながりも持つことができず孤立している家族も多くいらっしゃいました。

障がいを持っている本人も家族からのケアにしか慣れておらず、家族が急病などで介護ができなくなり突然施設に預けられると、介助者や周囲の環境に慣れず体調を崩してしまい、亡くなってしまうケースもありました。

私たちと同じ一度きりの人生なのに、障がいのある方たちをお預かりする場所がないがために、辛い時間を多く過ごしている人がいる。そうであれば、お預かりできる場所を自分が創ろう！と考え立ち上げをしました。

お陰様で使用される方も増え現在の場所が手狭になったため、今年4月に秋田市牛島に新築移転することになりました。それに伴い未就学児のお預かりと、夜間のお預かりも始めることになりました。

年齢、時間の切れ目のない関わりが出来るようになることで、本人は家族以外との時間を過ごすという経験ができ、家族は自分の時間を持つことが出来る。そう考えています。

これからも誰もが住み慣れた地域で生きることが出来るよう、微力ですがお手伝いをしてみたいと思います。



【幹事報告】

通 信

*ガバナー事務所

・米山記念奨学生報告

期間 2023年4月～2025年3月

氏名 ファン、ジャン ティ フォン

(女性・ベトナム)

学校 秋田大学

カウンセラー 阿部会員

お知らせ

*秋田東RC・秋田中央RC合同例会

会場 ホテルメトロポリタン秋田

日時 3月10日(金) 18:00～

*中区IM開催

会場 秋田キャッスルホテル

日時 3月18日(土) 14:00～

ニコニコNEWS

半田 雅之 会員

昨年12月に大町5丁目一楽土跡に長女が運営責任者として飲食店「森のくまさん」をオープン致しました。豚骨おでん・串物・中華・A5ランクの牛肉で撰ったスープの川反辛麺と沢山のメニューがありますので是非一度お立寄り下さい。営業時間は18時～26時までとなっております。川反で飲んだ後で、ビールとラーメンでいかがでしょうか。(3口)

辻 匡人 会員

特定非営利活動法人にこっと秋田八代美千子代表、本日の講演ありがとうございました。まさかここでお会い出来ますとはびっくりしました。(3口)

土田 鐘子 会員

八代さん、毎度のことながら心打たれるお話しありがとうございました。“秋田のナイチンゲール”として今後のご活躍を期待しております。(1口)